

第114回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収入金	他店商品券	前払金	従業員貸付金
従業員立替金	備品	支払手形	買掛金
借入金	社会保険料預り金	所得税預り金	当座借越
資本金	商品券	売上	受取手数料
受取利息	有価証券売却益	仕入	租税公課
給料	支払利息	発送費	保険料

- 商品券を精算するため、本店が保有している他店商品券 ¥ 100,000 と他店の保有している本店発行の商品券 ¥ 120,000 とを交換し、差額については現金で決済した。
- 店主の生命保険料 ¥ 90,000 と店舗兼住居用の建物の火災保険料 ¥ 250,000 について、当座預金口座より引き落とされた旨の通知が取引銀行からあった。ただし、火災保険料のうち、20%は店主個人住居部分に対してである。
- かねて森商店より掛けで仕入れ、村井商店に対して掛けで販売していた商品 60 ケース（取得原価 @ ¥ 8,000、売価 @ ¥ 12,000）のうち、6 ケースに汚損があったため、1 ケース当たり ¥ 2,000 の値引を承諾し、10 ケースについては品違いのため返品されてきた。なお当社は、売上値引勘定や売上戻り勘定は使用していない。
- 今月の給料支給額 ¥ 3,000,000 から、従業員に対する貸付金の返済額 ¥ 800,000 及びその利息 ¥ 10,000 を差し引き、手取り額を当座預金口座から振り込んだ。
- 本多商店から商品 ¥ 300,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 については本多商店を名宛人とする約束手形を振り出し、残額については小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は ¥ 100,000 であったが、取引銀行と当座借越契約（借越限度 ¥ 300,000）を結んである。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	商品券	120,000	他店商品券 現金	100,000 20,000
2	保険料 資本金	200,000 140,000	当座預金	340,000
3	売上	132,000	売掛金	132,000
4	給料	3,000,000	従業員貸付金 受取利息 当座預金	800,000 10,000 2,190,000
5	仕入	300,000	支払手形 当座預金 当座借越	150,000 100,000 50,000